

## 施策評価調書

### 1 施策の概要

(1)	施策名	国際理解の推進					
(2)	総合計画の体系	第	4	章	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
		第	5	節	国際感覚豊かなまちづくり		
		第	20	細節	国際理解の推進		
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額	
		事業費(A)		16,337	13,076	12,656	
		従事職員数		0.65 人	0.70 人	1.00 人	
		所要人件費(B)		5,166	5,847	8,170	
		総事業費(A+B)		21,503	18,923	20,826	
		財源内訳	収入	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	0	0	0
				その他	5	0	0
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	21,498			18,923	20,826		

### 2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	26年度実績	27年度実績	28年度計画
指標内容	日本語教室延べ参加者数	目標値 (単位:人)	2,916.00	3,024.00	2,880.00
		実績値 (単位:人)	1,834.00	1,449.00	
目標値の積算方法	講座開催回数×定員(18名)	達成度(%)	62.9	47.9	
指標内容	国際交流推進事業補助金交付事業への参加者数	目標値 (単位:人)	43.20	41.40	44.80
		実績値 (単位:人)	38.00	41.00	
目標値の積算方法	過去5年間の参加者平均	達成度(%)	88.0	99.0	

### 3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

かつて行政主体で姉妹都市提携等が盛んに行われていた時代から、現在では在住外国籍市民等の増加により、その方々への支援や、地域国際化、多文化共生のまちづくりを推進する時代に変化している。それらに対応するためには、本市として(仮称)吹田市多文化共生推進指針の策定を行う中で、多文化共生社会についての基本的な考え方を明確に示したうえで、多様なニーズに対し、多様な担い手により外国籍市民等への支援など多文化共生に係る施策の再構築を検討していきたい。

4 施策の評価

次年度の 優先 順位	施策を構成する 事務事業名	室課名	事業 番号	市 単 独 事 業 区 分	施 策 へ の 貢 献 度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の 方向性 (実施 計画)
						妥 当 性	有 効 性	効 率 性	公 平 性	持 続 可 能 性	合 計	
1	国際交流事業	文化スポーツ 推進室	01067	全部	大	18	16	16	20	18	88	継続
2											0	
3											0	
4											0	
5											0	
6											0	
7											0	
8											0	
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるに あたっての考え方		なし										